

令和元年度安城市行政評価報告書に対する取組状況(概要) ～令和元年度取組結果と令和2年度に取組む予定の内容～

事業名	令和元年度の主な取組結果	令和2年度に取組む予定の内容
図書情報館ICT活用事業(電子図書館)	<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍の蔵書を拡充し、752タイトル、1,113冊を追加購入しました。 ・電子図書館の利用促進及びPRのために、生涯学習情報誌「あんでな」に情報を掲載しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍の蔵書を拡充します。 ・利用促進・PRの実施及び改善をします。
防災ラジオ普及事業	<ul style="list-style-type: none"> ・防災ラジオをPRするため、広報に啓発記事を掲載しました。 ・過去の販売実績を参考に、明祥公民館、北部公民館、桜井公民館、アンフォーレにて、休日を含む計5回の出張販売を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より効果的なPR方法の実施及び改善をします。 ・前年度の販売実績を考慮し、出張販売の見直しを行います。
敬老祝品の贈呈(敬老事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老祝品の贈呈にかかる町内会への報償金に代わる、町内会敬老会補助金制度を構築するため、町内会の補助金への統合化や、一定の高齢者数に応じた補助金支給制度の構築に向けた検討を行いました。 ・敬老の思いや健康長寿について取り上げる機会をつくるため、敬老の日を含む3連休の初日にデンパークにて、おじいちゃん・おばあちゃんに向けたメッセージカード作り等を行うスタンプラリーを実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会敬老会補助金制度の設計を行い、町内会へ説明を行います。 ・健康長寿の方にインタビューを実施し、広報特集記事として掲載します。

令和元年度安城市行政評価報告書の評価結果に対する取組方針シート

【基本事項】

事務事業名	図書情報館ICT活用事業(電子図書館)	担当課	アンフォーレ課
事業内容	図書情報館WEBサイト内に電子図書館を開設し、スマートフォンなどで閲覧する電子書籍を市内在住の利用者に限り貸し出すサービスを行っている。		
公開行政レビューでの論点	電子図書館は、仕事や家庭などの事情で図書館に来館しにくい方や障害者が利用しやすい図書館サービスとしても期待できるので、電子書籍の蔵書を増加させ、更なる利用促進を図っていきたいが、どうか。		

【取組方針】

評価結果	拡充
担当課に取組を求める内容	文字に親しむ機会、知的情報入手する機会は多様であってほしい。 電子書籍は、今後ますます利用の増加が見込まれるため、利用状況等の分析を進め、紙の本と電子書籍に対する短・中期的な収集・閲覧方針等をオープンにしたうえで、拡充に努めていただきたい。また、利用促進や周知等PR方法についても工夫していただきたい。
上記を踏まえた取組方針	利用状況等を踏まえ、電子書籍の拡充に努めます。 利用促進については、PR方法等の検討を進めます。

【取組内容(見直しに向けた計画)等】

項目		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用状況等を踏まえた電子書籍の拡充	取組		電子書籍蔵書の拡充	—————→	
	実績		752タイトル1,113冊を追加購入しました。		
利用促進・PR	取組		利用促進・PRの手法を検討	利用促進・PRの実施及び改善	—————→
	実績		生涯学習情報誌「あんでな」に電子図書館の利用方法等をPRする記事を掲載しました。		

令和元年度安城市行政評価報告書の評価結果に対する取組方針シート

【基本事項】

事務事業名	防災ラジオ普及事業	担当課	危機管理課
事業内容	大地震や風水害による災害情報等を強制的に発信できる防災ラジオの運用を行っており、その普及を図るため、1世帯1台(2,000円)で販売及び啓発を行っている。		
公開行政レビューでの論点	災害情報伝達の手段の一つとして、防災ラジオの販売を実施し、引き続き、普及率20%を目標に、防災ラジオを普及させていきたいが、どうか。		

【取組方針】

評価結果	拡充
担当課に取組を求める内容	被災地の状況を例に、防災ラジオは、災害時に必要な情報を得るための手段の一つとして、年齢を問わず幅広く広報し、啓発を含め積極的に普及に努めていただきたい。
上記を踏まえた取組方針	広報あんじょうへの掲載や各種イベントでの啓発活動を積極的に行い、年代を問わず幅広く防災ラジオの普及に努めます。また、例年実施している公民館やアンフォーレなどでの出張販売の場所や回数を見直し、販売台数の増加に努めます。

【取組内容(見直しに向けた計画)等】

年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
より効果的な啓発方法の工夫	取組	防災ラジオのPR方法の検討、改善	より効果的なPR方法の実施及び改善	→
	実績	広報にて防災に関する啓発記事を連載し、あわせて防災ラジオのPRを行った。		
普及率を向上させるため、販売台数の増加	取組	過去の販売実績を参考に出張販売の場所や回数を見直し、販売を開始。	前年度の販売実績を考慮し、出張販売の見直しを行う	→
	実績	明祥公民館、北部公民館、桜井公民館、アンフォーレで出張販売を行った。		

令和元年度安城市行政評価報告書の評価結果に対する取組方針シート

【基本事項】

事務事業名	敬老祝品の贈呈(敬老事業)	担当課	高齢福祉課
事業内容	80歳以上の方を対象に、その長寿を祝うため、祝品を町内会を通じて贈呈する。		
公開行政レビューでの論点	近年、市の予算における高齢者に係る事業経費が増加し、今後も増え続けることが予想されるため、今後事務事業を厳選していく中で、敬老祝品の贈呈を廃止としたいが、どうか。		

【取組方針】

評価結果	廃止
担当課に取組を求める内容	事業の役割を確認し、敬老祝金も含め、敬老事業全体の中で、現在の社会状況にあった見直しを検討していただきたい。敬老の思いや感謝の意を伝える方法や機会を工夫していただきたい。
上記を踏まえた取組方針	80歳以上高齢者に贈呈している敬老祝品を廃止します。 イベントや広報を利用して敬老の思いや健康長寿について取り上げる機会をつくります。

【取組内容(見直しに向けた計画)等】

項目	年度			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
敬老祝品の贈呈廃止	取組	現行の町内会への報償金に代わる町内会敬老会補助金制度の検討を行う。	町内会敬老会補助金制度の設計を行い、町内会への説明を行う。	敬老祝品贈呈廃止 町内会敬老会補助金制度実施
	実績	町内会の補助金への統合化や、一定の高齢者数に応じた補助金支給制度の構築に向けた検討を行った。		
敬老の思いや健康長寿について取り上げる機会の創出	取組	孫世代から高齢者世代へ敬老の思いを伝えるイベントの実施	左記に加え、健康長寿の方にインタビューを実施し、広報特集記事として掲載する。	→
	実績	敬老の日を含む3連休の初日にデンパークにて、おじいちゃん・おばあちゃんに向けたメッセージカード作り等を行うスタンプラリーを実施した。		